



浜岡原子力発電所にある扉には、

世界最高レベルの 金庫の技術が使われている

応募しよう!!
お年玉
プレゼント



浜岡原子力館
松浦 有里

浜岡原子力発電所には、津波の浸入を食いとめるため
世界最高レベルの金庫の技術を使った扉が設置されています。
今回は、発電所を守る2種類の扉についてご紹介します。

2種類の扉の特色を見てみよう!

片側だけで
重さ20トン!!
動かしたいときに
動かせるの?



ヒンジ

開閉を助ける

「ヒンジ」のチカラ

「強化扉」は、万が一という場合に備え、手動で速やかに閉めることができます。「ヒンジ」という蝶つがいによって、両側で約40tの扉でも、大人2人であれば約2分間で閉められることを確認しています。

強化扉
とは

津波の波圧やガレキなどの漂流物がぶつかっても耐えられる強さです。

幅約7m

厚さ約1m

重さ(片側)
約20t

高さ約7m

水密扉
とは

強化扉から津波が入ってきても、その水圧に耐え、建物の内部への浸水を防ぎます。

これは浜岡にある最大サイズの「大物搬入口」の扉です



大きいなあ



津波の浸入を防ぐ 二重に設置した 2種類の扉

津波の浸入を防ぐため、原子炉建屋など重要な建物の外壁(海側)には、「強化扉」と「水密扉」の2種類の扉を二重に設置しています。

福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



水密扉をつくった人に聞きました!

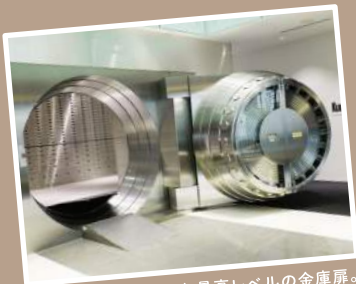
いざというときに力を発揮し
津波が入ってくるのを防ぐために。



水密扉の前で説明する熊平製作所の川本直さん。この扉は東日本大震災クラスの地震にも耐える強度と、津波の浸入を防ぐ水密性、衝撃を防ぐ機能を兼ね備えています。

水密扉をつくったのは、金庫扉のトップメーカー、株式会社 熊平製作所(広島県)。国内の銀行などの約8割が同社の製品を導入しています。浜岡原子力発電所の水密扉に応用したのは、鋼鉄製の金庫扉に使われる高度な技術。仮に敷地内が津波により浸水しても、建物内へ

の浸水を防ぐために、「0.01mmほどの誤差にも注意を払い、高い水圧がかかったときに水がもれないかどうか実験を繰り返しました」と同社の川本さんは語ります。「いざというときに期待通りの力を発揮することが、安全を守る製品の使命」と、場所や使い方に合わせて徹底的に性能を追求したそうです。



熊平製作所が手がけた最高レベルの金庫扉。

津波の力に
耐える
2種類の扉を設置



浜岡原子力発電所では、巨大な防波壁などにより、敷地内への津波の浸水を防いでいます。仮に、津波が防波壁を越えて敷地内に入ってきた場合でも、建物内への浸水を防ぐための対策をしています。

それが「強化扉」と「水密扉」です。原子炉建屋などの重要な建物には、津波の波圧や漂流物による強い衝撃にも耐えられる強化扉を外側に設置し、そこから水が入ったとしても、建屋内への水の浸入を防ぐ水密扉を内側に設置しました。

このように「強化扉」と「水密扉」を二重に設けることで、建物内への浸水を防いでいます。

かもじろうの発見!

もしもに備えて
扉を新しくつくり
いろいろな対策を
しているんだね。

応募しよう!
お年玉
プレゼント

25組50名さまにレゴランド・ジャパン入場チケットが当たる!!

ご意見・ご感想をお寄せください!

連載中の「ミラエネだより」に対するご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から、抽選でペア25組50名さまに、レゴランド®ジャパン入場チケットをプレゼントします。ぜひ、お気軽にご応募ください!

【応募方法】

応募フォームに従って入力してください。
URL <http://kirakira-mag.jp/miraene/form>

【応募締切】2017年12月25日(月)



当選者の発表 ご応募いただいた方の中から抽選のうえ当選者を決定いたします。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。(2018年1月15日(月)までに発送予定/チケット使用期限 2018年3月末まで)